

○新庁舎等整備に関する意見に対する回答

1 市民にとっての市役所機能の在り方について

(1) 窓口

ア 市民にとって身近な、コミュニティの拠点としての市庁舎

	会派名	意見	本市の考え方
1	ゆめみらい	市民共用のコンビニ、レストラン、カフェ、銀行などの施設を取り入れる。	市民交流スペース（約1,150㎡）において、「コンビニ・売店」や「銀行派出所・ATMコーナー」、「喫茶店・カフェ」などの設置を想定しており、これとは別に、職員の昼食場所として「ワークラウンジ」（職員の食事・休憩・作業場所。約500㎡）を整備すること予定しております。 いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をしていきたいと考えており、市民が訪れたいくなるような庁舎づくりに努めてまいります。
2	ヴィジョン	子どもの一時預かり施設、保育所の併設 図書館、学習センター、交流・創造スペースを利用する際の一時預かり施設および職員用の保育所を併設することにより、利用しやすく勤務しやすい庁舎にする	市民交流スペース（約1,150㎡）において、来庁者用の「授乳室・ベビーコーナー・キッズコーナー」などの設置を想定しております。現時点では保育施設としての「一時預かり施設」、職員用の「保育所」の整備は想定しておりませんが、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をしてまいります。 来訪者にとって使いやすく、職員にとっても働きやすい、快適な庁舎づくりに努めてまいります。
3	公明党	職員用食堂はマスト。職員と市民がくつろげるカフェやコンビニも必要。それも踏まえ計画・設計すべき。	市民交流スペース（約1,150㎡）において、「コンビニ・売店」や「銀行派出所・ATMコーナー」、「喫茶店・カフェ」などの設置を想定しており、これとは別に、職員の昼食場所として「ワークラウンジ」（職員の食事・休憩・作業場所。約500㎡）を整備すること予定しております。 いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をしていきたいと考えており、来訪者にとって使いやすく、職員にとっても働きやすい、快適な庁舎づくりに努めてまいります。
4	日本共産党	●全ての部署を移転先に配置するのではなく、現在地には鎌倉地域に密接した観光課や文化財課など一定の本庁舎機能を残し、支所ではなく、「分庁舎」「第二本庁舎」として、分散化することを提案する。総務常任委員会の所管事務調査における報告においても、「…当委員会としては、市役所機能の本庁舎への集約化一辺倒ではなく、分散化の視点を織り込んでいくべきという意見となった。」と記載されている。 理由：鎌倉市全市に文化財は点在しているが、特に鎌倉地域において古都鎌倉の歴史を形成する文化財や「やぐら」等が多く存在している。観光については、鎌倉地域が中心であることは言うまでもない。そういう点で鎌倉地域に担当を置くことが妥当ではないか。また、本庁舎機能の一定部分を現在地に残すことで、新庁舎の面積を減らすことができ、例えば、深沢学習センター及び図書館機能の面積を拡充することも可能になるのではないか。	移転して整備する新庁舎と現在地の役割分担については、鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想において、「鎌倉地域の住民の方を中心に、これまで市役所本庁舎へ手続・相談等で来庁していた方が、引き続き、安心して、行政サービスの提供を受けられるよう、支所と同等以上の行政サービス機能を配置する」方針を示しておりますが、詳細な機能の検討は、設計段階において、調整することを予定しております。現在地は、ホール、図書館など周辺の公共施設を集約し、市民・来訪者にとって魅力的な空間づくりに取り組むこととしていますが、鎌倉の魅力・文化の発信を行う適地とも考えております。 いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において、調整をしていきたいと考えており、現在地の持つポテンシャルをできるだけ活用するよう努めてまいります。
5	ネット	交流・創造機能として、待合ロビーに750㎡、市民交流スペースに1,150㎡（議場1,160㎡とほぼ同じ）をあてる案が示されている。 本庁舎に市民活動、市民交流、市民の憩いの場のスペースを設けることには大いに賛同する。しかし、深沢図書館・深沢学習センターの機能を別途移設することとのすみ分けは必要である。また、全市的に見た市民活動の中核拠点・NPOセンター機能は、交通至便の市庁舎現在地（御成町）に置くべきであり、新庁舎においては、その点を考慮した整備規模となることを求める。	深沢図書館及び深沢学習センターの機能は、交流・創造機能と親和性が高いことから、それらを一体的な空間として多世代が多目的に利用できるように整備し、可動式の間仕切り等を活用して利用の効率化を図り、機能間の相乗効果を生み出すことを検討しています。ご指摘のとおり、全市的な施設としての役割と、地域の居場所としてこれまで両機能が果たしてきた役割が損なわれることのないよう配慮してまいります。 なお、市民活動センターのあり方については、現在、市民活動センター利用者等へのアンケートや本市の附属機関である市民活動推進委員会での議論を行っており、現行のとおり鎌倉・大船の2拠点体制とするかどうかも含め検討しているところであります。今後、関係機関と調整を図ってまいります。

6	かわせみ	●地域共生社会の実現を目指す市として、居場所となるような市役所を目指したい。	新庁舎においては、多様な方が安心して利用できる居場所としての活用についても検討してまいります。
7	鎌倉アプデ	市役所職員、市民ともに活用できるラウンジの設置(イベントやマルシェの開催も出来るような場所とし、手続きのない市民の方も立ち寄れるような環境)	モデルプランにおいては、市民イベントや市民活動などに使用できる「市民交流スペース」と深沢学習センター及び深沢図書館の両機能を1階フロアに配置する想定としており、市役所職員と市民との協働、さらにはイベントやマルシェの開催などの利用など、市役所に用事がない方にも多く利用いただけるものと考えています。

イ 総合窓口の充実

	会派名	意見	本市の考え方
8	ヴィジョン	子育て・高齢者支援窓口 子供連れや家族同伴での相談を想定した、余裕のあるスペースを設ける ※母親+ベビーカー+幼児、支援対象者+家族	新庁舎においては、定型的・一般的な手続や相談については、総合窓口（ワンストップ窓口）の設置を想定しており、オープンスペースに配置するテーブルやブースで対応することから、従来のカウンター式の窓口と比較して、柔軟でゆったりとしたスペースとすることが可能となります。 なお、相談スペース（個室）についても、プライバシーに配慮したゆったりとしたスペースを整備する予定です。
9	ヴィジョン	個別対応 プライベートな相談等、周りを気にすることなく相談できる個室を設ける	相談スペース（個室）は、プライバシーに配慮したゆったりとしたスペースを整備する予定であり、モデルプランにおいては、現在の本庁舎や教育委員会（鎌倉水道営業所庁舎）等で設置している相談室の規模（計約140㎡）から、拡大（約220㎡）することを想定して検討しております。
10	かわせみ	●ワンクリックでの相談が可能となるようなシステム導入	定型的な手続や相談業務については、総合窓口（ワンストップ窓口）の設置による対応を想定しております。 今後は、試験的な取組も交えながらどのようなシステムを導入することが効果的であるか、検討を進めてまいります。
11	鎌倉アプデ	ワンストップ窓口の設置	同上
12	鎌倉アプデ	多言語対応の窓口(やさしい日本語の活用)	鎌倉市新庁舎等整備基本計画では、「高齢者や様々な障害を抱える方、外国人や性的マイノリティ等、多様な利用者に使いやすく、包摂性（インクルーシブ）に配慮した施設とします。」としており、この方針に沿って、検討してまいります。

(2) 防災

ア 市役所に求められる防災機能

	会派名	意見	本市の考え方
13	ヴィジョン	災害対策本部 地震等突発的災害に対応するため、災害対策本部室は常設とする	災害対策本部室については、通常の会議室面積とは別に設置することを予定しており、必要なスペースを確保する考えです。
14	かわせみ	●深沢整備事業区域に、最大規模の降雨があれば、造成をしてもなお、盛り土をする市役所とは異なり、浸水は免れない。防災部会での説明では、浸水時間は12時間としているが、通常の生活に戻るわけではない。洪水浸水時における避難者数の想定に対して、屋内退避スペースの確保は十分か。来庁者、帰宅困難者等の一時的な避難場所としてのスペースは十分か。予測数から割り出す必要はないか。 ●免震構造の場合、地下に水が入りやすい。その対応は考えられているか。	新庁舎については、現在の本庁舎と同様、避難場所として指定することは想定していませんが、災害が発生した際、来庁者等が避難場所等に避難するまでの間、安全に過ごせるスペースは十分にあると考えております。なお、帰宅困難者一時滞在施設を含めた災害時の避難場所については、深沢地域整備事業用地全体において考える必要があり、今後、当該事業を進める中で、災害の種類に応じ、避難スペース確保について検討してまいります。 また、地下に免震装置を設置する基礎免震として、万が一の浸水時の排水等の措置をするか、地上部分に免震装置を設置する中間層免震とするかなどの技術的な検討は、基本設計段階において、計画する建物やそれに応じた地盤調査などを踏まえて、検討してまいります。

15	長嶋議員	<p>予定地は緊急交通路指定想定路に隣接していないので問題。津波来襲時に沿岸部に深沢から行く為の道路確保が問題。自衛隊の救助は武山からなのでルート確保が深沢だと問題。本庁舎と消防本部併設だと激甚災害時両方使えなくなる可能性があるため併設は問題。</p>	<p>【予定地は緊急交通路指定想定路に隣接していないので問題。】 現在、市域内の国道134号及び県道21号が緊急交通路指定想定路とされていますが、緊急交通路の指定については、神奈川県警が大規模地震の類型に応じて4パターンの交通規制計画（緊急交通路として規制することがあらかじめ決められている道路）を定めています。いずれの計画においても国道134号及び県道21号はその対象となっておりません。また、東日本大震災発生後の平成23年（2011年）9月の警察庁交通局交通規制課の報告において、「首都直下型地震等を想定するとき、道路の損壊状況のほか、火災の発生状況、帰宅困難者による道路の占有状況等一般道路の状況は事前想定が困難であるため、高速道路以外の道路は、緊急交通路として利用可能な状況となるかどうか」という点を「緊急交通路の指定に関する今後の課題」の一つとして示しております。</p> <p>市域内の国道134号及び県道21号については、大規模地震発生時には、国道134号の津波による被害に加え、鎌倉地域を囲む山林付近においては、土砂災害警戒区域に指定される場所も多いことから、土砂災害のリスクを抱えていると考えております。また、風水害時においても、同じように土砂災害のリスクを抱えていると考えております。</p> <p>さらに、首都直下地震道路啓開計画（第3版・令和3年8月・首都直下地震道路啓開計画検討協議会）では、首都直下地震発生時の道路啓開計画が示されており、都心に向けた道路を優先啓開ルートと設定（国道134号及び県道21号は設定されていない）しているとともに、国土交通省（横浜国道事務所）によると、湾岸部の津波被災を想定した場合、現在整備が進められている横浜湘南道路及び横浜環状南線や横浜横須賀道路等の高速道路から湾岸部にアプローチする「くしの歯作戦」のイメージが示されております。</p> <p>以上のことから、現行の緊急交通路指定想定路と近接していないことは「問題」には当たらないと考えております。緊急交通路指定における神奈川県警の見解や東日本大震災における緊急交通路指定における課題、国道134号及び県道21号が抱える災害リスク、国・県が想定する救援ルートなどを総合的に考慮すれば、現在地よりも移転先に優位性があると考えております。</p> <p>【津波来襲時に沿岸部に深沢から行く為の道路確保が問題。】 国土交通省（仙台河川国道事務所）の報告によれば、東日本大震災発生から約6日後の平成23年（2011年）3月17日21時時点で、太平洋側沿岸を通る国道45号において多くの区間が通行不能になっていることが確認できます。大規模地震に伴う津波発生時には、国道134号において同様の被害が発生することが想定されることに加え、鎌倉地域を囲む山林付近においては、土砂災害警戒区域に指定される場所も多いことから、土砂災害が発生することも想定されます。</p> <p>このとき、本庁舎の位置が市庁舎現在地又は深沢のいずれであっても、本庁舎（防災拠点）と周辺地域をつなぐ道路の確保に努めなければならないことには変わりはありません。</p> <p>本庁舎の位置が現在地であった場合の罹災状況として、ご指摘の道路の確保がままならない状況を想像すれば、行き来が十分にできないということは、その道路確保が完了するまでの間、深沢を含む周辺地域との行き来が十分にできないことで、効果的な支援・救援を受けることの支障になり、鎌倉地域を含む全市的な災害対応としての初動に大きく影響することが懸念されます。</p> <p>一方、本庁舎の位置が深沢であった場合、現在地と比較して、前述のとおり国・県が津波被災時に想定する圏央道や横浜横須賀道路等の高速道路を経由した救援ルート（「くしの歯作戦」）からのアクセスがしやすいこと、現在地と比較して、周辺地域へのアクセスが容易であることなどから、全市的な災害対応としては現在地よりも移転先に優位性があると考えております。</p>
----	------	--	--

【自衛隊の救助は武山からなのでルート確保が深沢だと問題。】
前述のとおり、緊急交通指定における神奈川県警の見解や市域内の国道134号及び県道21号が抱える災害リスク、国・県が津波被災時に想定する圏央道や横浜横須賀道路等の高速道路を経由した救援ルート（「くしの歯作戦」）を踏まえれば、現在地よりも移転先に優位性があると考えております。

【本庁舎と消防本部併設だと激甚災害時両方使えなくなる可能性があるので併設は問題。】

新庁舎の整備予定地は、全域において様々な災害リスクを抱える本市にあって、鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会からの答申において「市内の他の地域との比較において、地震、津波、洪水、土砂災害など想定できる災害因子を複合的に考慮した場合、災害リスクが非常に小さい地域」であり、「今後新たに基盤整備と施設整備を行う地域であるため、減災や被災後の早期復旧、受援力の強化等を目指したまちづくりが可能である」との評価を得ていることや、同委員会防災部会においても「事業区域としては防災拠点として機能を強化していくことができるエリア」との報告を受けている敷地です。

なお、近年整備を終えた茅ヶ崎市や平塚市においても、消防本部は新庁舎内に整備されており、こういった整備の考え方が「問題」には当たらないと考えています。今後、建物としての新庁舎の具体的な検討において、様々な災害に対しても対応可能な施設整備を目指してまいります。

(3) 交通

ア 深沢地域整備事業用地に係る交通インフラについて

	会派名	意見	本市の考え方
16	ゆめみらい	シャトルバス等の導入、特に新駅ができるまでのモノレール対策	移転後の新庁舎周辺と市庁舎現在地周辺等との交通ネットワークについては、バス路線の新設・再編整備を含め、関係機関と連携し、来庁者の視点に立った公共交通の確保に配慮していく考えであり、東海道本線大船駅・藤沢駅間の新駅との連絡も含め、関係する交通事業者等と意見交換をしつつ、検討を行ってまいります。なお、湘南深沢駅については、将来の駅利用者の増加を見込み、ホーム拡幅及びエレベーター設置等の駅改修工事を計画しております。工事着手の時期は未定ですが、令和10年度の新庁舎開庁に間に合うように要望してまいります。
17	ヴィジョン	公共交通の利用促進 庁舎敷地内への路線バス引き込みおよびモノレール駅までの屋根付き通路を建設する	移転後の新庁舎周辺と市庁舎現在地周辺等との交通ネットワークについては、バス路線の新設・再編整備を含め、関係機関と連携し、来庁者の視点に立った公共交通の確保に配慮していく考えであり、東海道本線大船駅・藤沢駅間の新駅との連絡も含め、関係する交通事業者等と意見交換をしつつ、検討を行ってまいります。なお、湘南深沢駅については、将来の駅利用者の増加を見込み、ホーム拡幅及びエレベーター設置等の駅改修工事を計画しております。工事着手の時期は未定ですが、令和10年度の新庁舎開庁に間に合うように要望してまいります。路線バスの引込については、バス事業者等との協議・検討を進めていきますが、現時点では庁舎敷地内での整備に向けて検討を行う予定です。また、湘南モノレール駅までの通路の整備については、引き続き検討してまいります。
18	ネット	モノレールによるアクセスが不便な鎌倉地域の住民の利便性をはかるため、鎌倉駅から新庁舎までのバス便を整備する。	移転後の新庁舎周辺と市庁舎現在地周辺等との交通ネットワークについては、バス路線の新設・再編整備を含め、関係機関と連携し、来庁者の視点に立った公共交通の確保に配慮していく考えであり、東海道本線大船駅・藤沢駅間の新駅との連絡も含め、関係する交通事業者等と意見交換をしつつ、検討を行ってまいります。
19	自民党	鎌倉駅から新庁舎までの公共交通の整備を求める。	同上
20	長嶋議員	深沢側から新駅への道路は、神戸製鋼の他に10軒の立ち退きが必要と聞いているが、全て了承される見込みがたっているのか？新駅が実現しないと職員通勤、災害時、土地価格、など様々な影響があるので、先送りをはじめとした計画自体を見直す必要がある。	新駅南口側には、駅前交通広場の整備を計画しており、駅前交通広場と県道腰越大船を繋ぐシンボル道路は、両地区一体のまちづくりを実現する上で重要な道路となります。そのため、シンボル道路は藤沢市村岡地区、鎌倉市深沢地区の土地区画整理事業区域と併せ、それぞれの市で都市計画決定しており、橋梁部を除く道路部については、都市計画事業として藤沢市が整備を行う予定です。

イ まちづくりの視点で交通環境の整備を行うことについて

	会派名	意見	本市の考え方
21	日本共産党	●深沢まちづくりにおいて、人口3,000人の増加を想定しており、さらに新庁舎や体育館等の公共施設を整備するのであれば、周辺の交通問題の解決を図る必要がある。現状、交差点の渋滞は問題ないとしているが、実際は交通渋滞が生じており、特に深沢小学校付近が大変狭く、道路拡張や交差点改良が必要なにも関わらず、具体的方針が示されていない。また、鎌倉地域や腰越地域等からの交通手段の改善も必要不可欠ではないか。	深沢地区のまちづくりに係る交通管理者協議では、新たに発生する自動車交通量を見込み、将来の自動車流を検討した結果、主要な交差点については、交通管理者が定める基準値以下となるため、著しい渋滞は生じないものと考えています。しかしながら、県道藤沢鎌倉の深沢交差点付近の歩行環境や深沢小学校西側道路、手広交差点など、周辺道路については、現在の交通環境を踏まえ環境改善に向けて取り組んでまいります。
22	自民党	深沢交差点付近は道幅が狭いため、道路拡幅等により周辺の交通環境の整備を求める。	同上
23	かわせみ	●交通渋滞の解消に向けての検討 ●全市民のアクセスのしやすさの検討 ●交通事故防止の検討	同上

24	長嶋議員	以下の場所は道路拡幅と歩道設置が必要 →深沢小入口～深沢支所入口、古館橋～藤沢駅方面、モノレール下道、深沢交差点～深沢支所西交差点。 各所道路改良が必要 →県道藤沢鎌倉線の深沢～八雲神社、ローゼン裏水道道。 手広交差点江の島側右折車線が必要。横浜環状南線は開通予定白紙。新駅高架橋が無いのは問題。	県道腰越大船から三菱電機鎌倉製作所南側を通り、モノレール下の市道から深沢支所西交差点を経由して深沢交差点までの区間については、「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」において補助幹線と位置付けており、交通環境の改善に向けて取り組んでまいります。また、県道藤沢鎌倉の深沢交差点付近の歩行環境や深沢小学校西側道路、手広交差点など、周辺道路については、現在の交通環境を踏まえ環境改善に向けて取り組んでまいります。 なお、新駅高架道路橋の計画はありません。
----	------	--	--

2 移転先の整備、現在地の跡地利用について

	会派名	意見	本市の考え方
25	ヴィジョン	生涯学習センターや図書館機能が入ると伺っているが、音響効果の優れたコンサートホールなどは入れないのか、また民間企業と協働して宿泊機能を持たせるような案はないのか。	鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想において、市庁舎現在地に導入する機能を中央図書館機能及びホール・ギャラリー機能等としています。ホールの具体的な仕様等については、今後、検討を進めてまいります。 また、同基本構想において市庁舎現在地への民間機能導入可能性の整理として宿泊機能・サービスの参考事例についても紹介していますが、今後、市庁舎現在地に導入する公共機能の規模や周辺環境への影響などを踏まえて、検討を進めてまいります。
26	公明党	我が会派としてこれまで代表質問で主張してきたが、鎌倉市内に中心的医療福祉センターがないのは市民にとって不便ゆえ、現市役所跡地に建設すべき。市民にとっても最も重要な施設。	保健センターの機能については、深沢のまちづくりを進めていく中でスポーツ施設などの機能と併せて配置を検討しており、医療福祉センターについては、いただいたご意見も踏まえ、三師会と協議を行ってまいります。
27	日本共産党	●鎌倉生涯学習センター機能について、集会室についての記載が何もないのは問題であり、ホールと展示機能にのみを整備するという計画内容は市民の理解を得られないのではないか。鎌倉学習センターの現在地は、まだ四半世紀以上、借地期間があり、耐震化工事も行ってきた経過からも、継続使用が望ましい。 ●また、整備にあたっては、民間活用部分は最小限にし、公共施設部分の充実を図ること。特に、中央図書館の面積を十分に確保し、充実を図ること。	鎌倉生涯学習センター機能については、ホール・ギャラリー機能の導入に加えて、集会室の機能についても、市庁舎現在地での複合化により対応を図ってまいります。 中央図書館の規模や機能については、現状の規模を基本に、必要な機能の見直しや複合化する他の機能との連携や共用化等によって、機能の充実に努めてまいります。
28	ネット	市庁舎現在地利活用基本構想の段階では、現在地に整備する複合施設について、「解体して新築するのか、現有建物を改修・増築するのかの手法の選択」および「公共スペースと民間スペースのおおよその比率」が示されていない。しかし、この2点は市役所移転に係る判断材料として、早期に示されるべきである。基本構想では、ゾーニングイメージを複数パターン示すための仮の想定条件として、公共機能面積：民間機能面積を36：64 という比率が示されているが、この公共と民間の比率は最低でも逆でなければならない。市費の負担を抑えることを優先して、中途半端な施設になったり、軒を貸して母屋を取られる結果になったりしたら本末転倒である。	市庁舎現在地での複合施設の整備に当たり、「解体して新築するのか、現有建物を改修・増築するのかの手法の選択」及び「公共スペースと民間スペースのおおよその比率」については、今後、基本計画を策定していく中で検討していく予定です。 なお、市庁舎現在地に導入する民間機能は、市庁舎現在地に必要な公共機能を確保した上で、検討を行ってまいります。
29	ネット	基本理念を『ひらいて むすんで 知恵うむ “ふみくら”』とするのであれば、歴史的公文書と近現代史資料も含めて市民の閲覧に供する公文書館（公文書館スペース）を中央図書館と同じ場所に設置するべきではないか。	中央図書館の規模や機能については、近現代史資料の保存等のスペースも含めて、現状の規模を基本に、必要な機能の見直しや複合化する他の機能との連携や共用化等によって、機能の充実に努めてまいります。 なお、現在、新たに公文書館（公文書館スペース）を整備することは想定しておりませんが、機能のあり方も含め、検討を行ってまいります。
30	ネット	鎌倉生涯学習センターのホール、ギャラリー機能を複合化するだけでなく、集会室の機能も集約化し、市民活動の大きな拠点とするべきである。	鎌倉生涯学習センター機能については、ホール・ギャラリー機能の導入に加えて、集会室の機能の集約化を、市庁舎現在地での複合化により対応を図ってまいります。

31	ネット	「『官と民の協働により新たな価値を創造する』という創造的官民（公民）連携」の考え方はよいが、施設竣工後の民間事業者の関り方が、ア）公共スペースの管理運営を担ってもらうことが主であるのか、イ）施設の床面積の相当な部分を使って民間事業者が営利事業を行うのかによって事業スキームは大きく変わってくる。当該用地は建物が高層化できず、民間事業者が広い床面積を使って営利事業を行い、大きな収益を上げることはそもそもできない。ア）を前提とした事業スキームに収斂していくべきである。	施設整備の事業手法や官民連携については、必要な公共機能を確保した上で、事業者ヒアリングなどを踏まえて、パブリックマインドを持った民間との協働について、検討を行ってまいります。
32	ネット	深沢で新庁舎が開庁し、現市庁舎が取り壊されて、新たな複合施設が整備するまでの間、鎌倉地域の住民が利用できる行政の窓口機能を鎌倉駅周辺の別の場所に確保する。	新庁舎開庁から市庁舎現在地利活用開始までの間も、鎌倉地域における行政サービスの提供を継続することができるよう、検討を行ってまいります。

3 その他

(1) 施設・設備について

	会派名	意見	本市の考え方
33	ゆめみらい	窓を多くしたり天井光などの自然光の導入	いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
34	ゆめみらい	画一的なものにとられず、市民・職員が視覚的にも、体感的にも気持ち良さを感じるものに	同上
35	ゆめみらい	地球環境に配慮した高効率建材、機器の使用や、自然自家発電、自家発熱等の導入	鎌倉市新庁舎等整備基本計画においても、CASBEEやZEB認証の取得を目指すことなどを示しておりますが、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
36	ゆめみらい	庁舎内での音が響かない工夫が必要。床、壁、天井などの材質に配慮	いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
37	ゆめみらい	先進的なバリアフリー（車椅子、視覚障害者、聴覚障害者、妊産婦等）をほどこす。「ユニバーサルであること」に徹底的にこだわる。	鎌倉市新庁舎等整備基本計画では、「高齢者や様々な障害を抱える方、外国人や性的マイノリティ等、多様な利用者に使いやすく、包摂性（インクルーシブ）に配慮した施設とします。」としているほか、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例における「望ましい基準」への適合を目指すことなどを示しており、この方針に沿って、技術的な検討や建物の具体化を進めることとしており、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。また、当事者団体へのヒアリングなども通じて誰もが使いやすい施設となるよう努めてまいります。
38	ゆめみらい	市民、部外者と業務スペースとのセキュリティ強化	鎌倉市新庁舎等整備基本計画において、「一般利用スペースと執務スペースを明確に区分し、情報セキュリティを確保します。」と示しており、この方針に沿って、技術的な検討や建物の具体化を進めることとしており、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
39	ヴィジョン	高齢者・下肢機能障がい者対応 テーブル・カウンター・廊下・階段・トイレ等、人が使用する場所には、歩行補助・転倒防止のために手すりを徹底して設置する	鎌倉市新庁舎等整備基本計画では、「高齢者や様々な障害を抱える方、外国人や性的マイノリティ等、多様な利用者に使いやすく、包摂性（インクルーシブ）に配慮した施設とします。」としているほか、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例における「望ましい基準」への適合を目指すことなどを示しており、この方針に沿って、技術的な検討や建物の具体化を進めることとしており、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。また、当事者団体へのヒアリングなども通じて誰もが使いやすい施設となるよう努めてまいります。
40	ヴィジョン	聴覚障がい者に対応 難聴者・補聴器使用者に配慮した庁舎内スピーカーを採用。受付や窓口では、職員の回答等を文字情報に変換するシステムを採用する	同上

41	ヴィジョン	廊下素材 革靴、パンプス・ハイヒールによる、歩行時の足音が出ないようにする	いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
42	ヴィジョン	立体駐車場 駐車場から連絡通路を使い直接庁舎に移動ができ、車椅子・歩行者・杖使用者はもちろん、子供連れでも安全に雨に濡れずに庁舎に移動できるようにする。駐車台数も確保できる	災害時の平面利用、景観等の観点から立体駐車場は想定しておりませんが、利用者の利便性向上については、基本設計等の中で工夫をまいります。
43	ヴィジョン	消防本部機能の併設による問題 出場時のサイレン・訓練・車両点検等、庁舎内への音の影響の有無を再確認する（図書館、学習センター、交流・創造スペース、議会）	災害出動時のサイレンの吹鳴や訓練時・車両点検時の音が発生することは避けられませんが、他自治体でも庁舎と消防本部や消防署を複合化や隣接して整備している事例はあり、ヒアリングを実施したところ、いずれの事例においても大きなトラブルや苦情はないことや、一般的な遮音性能やサイレン・放送用スピーカーの向きなどに関する配慮を除き、建築上の特別な対応はしていないことを確認しています。今後、技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
44	ヴィジョン	新庁舎の建物は6階建てで3階までは広く、4階以上がコンパクトとなっているが長方体にならなかった理由は何か？庁舎自体の外見のコンセプトはあるのか。理由として①津波などの災害で上層部に逃げる想定があれば狭く取らない方が良いのでは？②外壁の色や植物の有無にもよるだろうが外観は重要と考える。	モデルプランは、災害発生時の一時的な避難への対応に配慮するとともに、市役所としての使いやすさを踏まえて検討したものです。フロア構成や外観その他については、いただいたご意見や深沢地区まちづくりガイドライン（今年度策定予定）を踏まえ、設計段階において検討をまいります。
45	日本共産党	●複合整備予定となっているが、学習センターの面積が1,186㎡から約770㎡に、図書館が820㎡から530㎡に3分の1も減ることになる。公共施設再編計画において「地域拠点校」の考え方から学校に複合化する公共施設面積を2,000㎡と想定している。現状の深沢行政センターにおける図書館、学習センター機能及びその他共用部分の面積比率で按分し、2つの施設の占有面積を1,300㎡と想定しているが、市民サービスの低下につながり問題ではないか。少なくとも元の広さを確保するよう努め、市民サービスの向上を図るべき。	深沢図書館及び深沢学習センターの機能は、市民交流スペース（1,150㎡）など一体的な空間として多世代が多目的に利用できるように整備し、機能間の相乗効果を生み出すことによって、充実したものとなるよう検討をまいります。今後、技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、設計段階において検討をまいります。
46	ネット	誰もがわかりやすいようにデザインされたサインを工夫する。ゾーンによってフロアの色分けも検討する。情報発信のデジタルスクリーンは数を絞ればあってもよいが、デジタルサインの多用は避ける。使える箇所では木材を使い、簡素で温かみや親しみが感じられる内装とする。	鎌倉市新庁舎等整備基本計画では、「高齢者や様々な障害を抱える方、外国人や性的マイノリティ等、多様な利用者を使いやすく、包摂性（インクルーシブ）に配慮した施設とします。」としているほか、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例における「望ましい基準」への適合を目指すことなどを示しており、この方針に沿って、技術的な検討や建物の具体化を進めることとしており、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
47	ネット	基本計画でもCASBEE（建築環境総合性能評価システム）のAランク以上の取得を目指すとしているが、Sランク・Aランクを取得した庁舎の先行事例を参考に、採用できる技術・手法をくまなく検討する。自然換気システム、地中熱の活用なども。	鎌倉市新庁舎等整備基本計画においても、CASBEEやZEB認証の取得を目指すことなどを示しておりますが、技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
48	かわせみ	●テレワークの推進、サービスのオンライン化により、コンパクトな本庁舎を目指すとして、施設規模を20,000㎡としたが、数字の根拠が明確ではない。 ●必要とされる機能にどれだけの面積が必要かを検討し、その面積の積み上げにより上限を意識しつつ、規模を決定した方が良いのでは。	事務室については、必要な座席数や想定するテレワーク率などを踏まえて算出し、防災機能スペースや会議室、相談室、書庫・倉庫などについては、現況調査などから必要な面積を積み上げて算出しております。一方で、エントランスや廊下などの共用スペースについては、他市事例を参考に必要な面積を想定した上で、モデルプランを検討したものです。各機能やスペースの面積や具体的な構成、レイアウトについては、延床面積の想定を踏まえ、設計段階において検討をまいります。
49	かわせみ	●図書館機能と学習センター機能のための専有面積を1300㎡と想定しているが、根拠は、地域拠点校に複合化される公共施設面積2000㎡から按分して算出している。本庁舎に整備される図書館機能と学習センター機能が、これまでの深沢行政センターにおける専有面積よりも狭くなることで、これまで保障されていた機能を果たすことができるか検討する必要がある。	深沢図書館及び深沢学習センターの機能は、市民交流スペース（1,150㎡）など一体的な空間として多世代が多目的に利用できるように整備し、機能間の相乗効果を生み出すことによって、充実したものとなるよう検討をまいります。今後、技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、設計段階において検討をまいります。

50	かわせみ	<p>●現在地の様に、窓口での相談内容が、待機している人に聞こえることがないよう、プライバシーに配慮したスペースの確保、および相談室の確保数は計画に位置付けられているか。どのように算出されているか。</p> <p>●車いす移動のための空間確保、子育て等に関わる空間（授乳室・キッズコーナー・一時預かりの空間）確保について、算出されているか。</p>	<p>相談スペース（個室）は、プライバシーに配慮したゆったりとしたスペースを整備する予定であり、モデルプランにおいては、現在の本庁舎や教育委員会（鎌倉水道営業所庁舎）等で設置している相談室の規模（計約140㎡）から、拡大（約220㎡）にすることを想定して検討しております。</p> <p>鎌倉市新庁舎等整備基本計画では、「高齢者や様々な障害を抱える方、外国人や性的マイノリティ等、多様な利用者に使いやすく、包摂性（インクルーシブ）に配慮した施設とします。」としているほか、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例における「望ましい基準」への適合を目指すことなどを示しており、この方針に沿って、技術的な検討や建物の具体化を進めることとしており、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。</p> <p>なお、上記の考え方のもと、移動空間の確保のほか、市民交流スペース（約1,150㎡）において、来庁者用の「授乳室・ベビーコーナー・キッズコーナー」などの設置を想定しています。現時点で保育施設としての「一時預かり施設」の整備は想定しておりませんが、現在建設を進めている第6分庁舎にキッズスペースの設置を予定しており、その運用を踏まえ、子ども連れの来庁者への対応を検討してまいります。</p>
51	かわせみ	<p>●守衛の方々の仮眠室整備・技能労務職の方々のためのシャワー室の整備・職員の休憩室整備・市民も利用できる食堂の整備（展望の良いところ）</p>	<p>管理諸空間（約150㎡）において「宿直室・仮眠室」を、サービス空間（約720㎡）において「シャワー室」を、その他諸室（約830㎡）において「休憩室」を、市民交流スペース（約1,150㎡）において「コンビニ・売店」や「喫茶店・カフェ」などの設置を想定しており、各機能やスペースの面積や具体的な構成、レイアウトについては、延床面積の想定を踏まえ、設計段階において検討してまいります。</p> <p>なお、「食堂」の整備については、職員の昼食場所として「ワークラウンジ」（職員の食事・休憩・作業場所。約500㎡）を整備することで対応する予定ですが、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をしていきたいと考えており、来訪者にとって使いやすく、職員にとっても働きやすい、快適な庁舎づくりに努めてまいります。</p>
52	かわせみ	<p>●外観について 深沢地区のまちづくりとの調和性を図るための取り組みとして、市民に愛着を持ってもらえるよう、また市のシンボルとなるような外観でありたい。（例：景観重要建築物として残せるような）そのために、業者選定のプロポーザルと提案者を選定するコンペを併用できないか。</p> <p>●内観について 鎌倉市の文化財（出土物・伝統工芸品・鎌倉ゆかりの作家による作品）の展示スペースの確保</p> <p>●建築資材について カーボンニュートラル・SDGs持続可能性を意識した建材の利用</p>	<p>●外観について 鎌倉市新庁舎等整備基本計画においても、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大して以降、加速度的に変化し続ける社会情勢に柔軟に対応するため、特に、行政DXへの対応という課題への取組と基本設計の取組を一緒に進める考えを示しており、公募型プロポーザル方式で、これらを担う受注者を選定する予定です。選定に当たっては、ご意見を踏まえ、募集要領等を検討してまいります。</p> <p>なお、プロポーザル方式は受注者を選定するもので、外観や建物案を選定するものではありませんが、市民に愛着を持っていただけるプランとなるよう、事業者選定にあたっては市民参加を取り入れていくことを検討してまいります。基本設計にあたっては、市民や市議会の意見を聞きながら、間取りや外観、仕様などを固めてまいります。</p> <p>●内観について 鎌倉市新庁舎等整備基本計画においても、鎌倉の自然や歴史に関する情報発信を行うことを示しておりますが、技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。</p> <p>●建築資材について 鎌倉市新庁舎等整備基本計画においても、CASBEEやZEB認証の取得を目指すことなどを示しておりますが、今後、技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。</p>
53	かわせみ	<p>●ZEBなど、パッシブソーラー・パッシブデザインの理念を積極的に取り入れた環境配慮型・エネルギー自立型の庁舎を目指したい。</p>	<p>鎌倉市新庁舎等整備基本計画においても、CASBEEやZEB認証の取得を目指すことなどを示しておりますが、今後、技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。</p>

54	鎌倉アプデ	ベビーカーや車椅子などでも健常歩行者と同様なルートをたどれるような歩行空間設計	鎌倉市新庁舎等整備基本計画では、「高齢者や様々な障害を抱える方、外国人や性的マイノリティ等、多様な利用者に使いやすく、包摂性（インクルーシブ）に配慮した施設とします。」としているほか、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例における「望ましい基準」への適合を目指すことなどを示しており、この方針に沿って、技術的な検討や建物の具体化を進めることとしており、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。また、当事者団体へのヒアリングなども通じて誰もが使いやすい施設となるよう努めてまいります。
55	鎌倉アプデ	調乳機能のある授乳室、おむつ替えスペースの設置	市民交流スペース（約1,150㎡）において、来庁者用の「授乳室・ベビーコーナー・キッズコーナー」などの設置を想定しております。
56	鎌倉アプデ	おむつや乳児用お菓子、ジュースの自販機設置	市民交流スペース（約1,150㎡）において、「コンビニ・売店」や「喫茶店・カフェ」などの設置を想定しております。
57	鎌倉アプデ	キッズスペースと常勤保育士の設置（保育士1人でも期間限定でも良いので）	市民交流スペース（約1,150㎡）において、来庁者用の「授乳室・ベビーコーナー・キッズコーナー」などの設置を想定しております。また、現在建設を進めている第6分庁舎にキッズスペースの設置を予定しており、その運用を踏まえ、子ども連れの来庁者への対応を検討してまいります。
58	鎌倉アプデ	庁内（廊下や階段などもしっかり）の明るい設計（光の入る設計、ガラスを増やすなど）	技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
59	鎌倉アプデ	庁内、エレベーター内へも点字ブロックの設置	鎌倉市新庁舎等整備基本計画では、「高齢者や様々な障害を抱える方、外国人や性的マイノリティ等、多様な利用者に使いやすく、包摂性（インクルーシブ）に配慮した施設とします。」としているほか、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例における「望ましい基準」への適合を目指すことなどを示しており、この方針に沿って、技術的な検討や建物の具体化を進めることとしており、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。また、当事者団体へのヒアリングなども通じて誰もが使いやすい施設となるよう努めてまいります。
60	鎌倉アプデ	庁内マップへの点字・音声表示	同上
61	鎌倉アプデ	エントランスは自動ドア	エントランスは、自動ドアの設置を想定しております。
62	鎌倉アプデ	領域毎にフロアを分けて、色で分かりやすくする	技術的な検討や建物の具体化を進める中で、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。
63	鎌倉アプデ	十分な駐車場や駐輪場	同上
64	鎌倉アプデ	ペット連れの来庁者の方むけにドッグスペースや水飲み場の設置	同上
65	鎌倉アプデ	各部屋毎やスペース毎に温度調節できるようにする。	同上
66	鎌倉アプデ	広めのトイレでウォッシュレットは常備	同上
67	鎌倉アプデ	庁内トイレへの生理用品の設置	同上
68	鎌倉アプデ	管の老朽化を見越して取り外し作業可能にしておく	いただいたご意見を踏まえ、メンテナンスしやすい設備構造を検討してまいります。
69	鎌倉アプデ	換気などダクト清掃可能な配置、引き回しにする	同上

(2) 職員スペース等について

	会派名	意見	本市の考え方
70	ゆめみらい	保健室、休憩室などの法定設備の導入	その他諸室（約830㎡）において、労働安全衛生規則等に基づく「休憩室」などを設置します。
71	ゆめみらい	職員が予約なしで使えるフリースペース	事務室（約5,170㎡）において、職員の食事や休憩、作業等で自由に使える「ワークラウンジ」を設置することを想定しております。
72	鎌倉アプデ	市庁舎職員向け保育所の設置	市民交流スペース（約1,150㎡）において、来庁者用の「授乳室・ベビーコーナー・キッズコーナー」などの設置を想定しております。現時点では職員用の「保育所」の整備は想定しておりませんが、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をまいります。 職員にとって働きやすい、快適な庁舎づくりに努めてまいります。
73	鎌倉アプデ	職員の福利厚生施設を用意する。喫茶店や市民共用昼食食堂（さらに、食堂は残業時にも職員が使用できるようにする）、横になれる広めの部屋、寝泊まりできるスペースと寝具の用意。風呂の設置。昼休みなど職員が集まれるスペースの設置。購買部の設置。	市民交流スペース（約1,150㎡）において「コンビニ・売店」や「喫茶店・カフェ」、その他諸室（約830㎡）において「休憩室」、サービス空間（約720㎡）において「浴室」、防災機能スペース（約600㎡）において「仮眠室」、事務室（約5,170㎡）において職員の食事や休憩、作業等で自由に使える「ワークラウンジ」などを設置することを想定しており、各機能やスペースの面積や具体的な構成、レイアウトについては、延床面積の想定を踏まえ、今後、設計段階において検討を行いながら、職員の福利厚生の実現を図ってまいります。 なお、「寝泊りできるスペース」については、災害時を想定した「仮眠室」は設置することを想定していますが、専用スペースを整備するのではなく災害時に会議室等のスペースを転用することなどにより対応するものと考えております。 また、「食堂」の整備については、職員の昼食場所として「ワークラウンジ」（職員の食事・休憩・作業場所。約500㎡）を整備することで対応する予定ですが、いただいたご意見を踏まえ、今後、設計段階において調整をしていきたいと考えており、来訪者にとって使いやすく、職員にとっても働きやすい、快適な庁舎づくりに努めてまいります。

(3) 併設する施設等について

	会派名	意見	本市の考え方
74	ヴィジョン	サッカーやラグビーなどが出来るグラウンドを建設するとあるが、どの程度の規模なのか、市民も受診できる整形外科のクリニックなどは併設するのか	グラウンドは、現在深沢多目的スポーツ広場の利用形態を踏まえたものとし、サッカー及びラグビーなどの公式戦が開催できる施設規模を想定しております。 なお、その他詳細な内容について、今後検討してまいります。
75	日本共産党	●新庁舎や体育館の一部を活用して乳幼児健診等に使える部屋の確保をすると議会答弁しているが、具体的な方針が計画にない。深沢まちづくり計画では、ウェルネスを方針としているが、健康づくりの拠点が無いのは問題ではないか。保健センターの検討方針を計画に位置づけ、何らかの場所を移転先に整備すること。	保健センターの機能については、深沢のまちづくりを進めていく中でスポーツ施設などの機能と併せて配置を検討してまいります。

(4) 事業の推進について

	会派名	意見	本市の考え方
76	ヴィジョン	新庁舎も50年もすれば建物は老朽化する訳でその場合はどのような計画をしているのか。御成に戻すとか深沢で建て替えるのか、現時点での構想があれば知りたい。	現時点では、新庁舎をできるだけ長く使い続けることができるものとするのが重要と考えております。
77	公明党	物価高、円安により170億円では収まらないのは明白。速やかに事業推進すること、各事業者との価格交渉は勿論だが半世紀に1回の重要事業ゆえ、市民・職員が使いやすい快適な市役所にすることを念頭に、財源確保して170億円に縛られず然るべきコストは掛けて進めるべき。	物価や為替等の整備費用に影響を与える事項については引き続き注視しながら、その状況に応じて対応を検討してまいります。なお、費用の圧縮、民活等による財源確保などに努めてまいります。費用削減により、使いにくいものとなってしまいうようなことが無いよう十分に配慮してまいります。
78	ネット	洪水による浸水のリスクへの対応策として行う造成は土地区画整理事業によって行うとのことである。しかし、2028年に予定している開庁が深沢地域整備事業用地の実質的「まちびらき」であるということは、地域全体の社会インフラ（上下水道、電力、通信網、ガス）が整わないうちに必要なインフラを部分的に先行整備することになるおそれも否定できない。それによる経費増（市費負担）の心配はないのか。また、新庁舎が再生可能エネルギーの多用など独自のグレードのインフラを必要とした場合、土地区画整理事業で賄われるインフラ整備の経費から上乗せ分が発生するようなことはないのか。	土地区画整理事業は長期にわたる事業のため、段階的に整備を行い、インフラ工事が完了した箇所から供用開始します。効率的な工事展開を検討し、無駄が生じないよう進めていく計画としております。また、新庁舎の検討については、今後、設計段階において具体的な検討を行っていくこととなりますが、費用対効果を見極めるとともに、土地区画整理事業とよく連携し、事業推進に努めてまいります。
79	鎌倉アプデ	横国附属小学校や西御門付近への設置、附属小学校の野村総研跡地への移設、生徒はシャトルバスで送迎する。または鎌倉地域内の建設可能地の検討	移転先の検討は、原則として市有地であることや、必要となる床面積の新庁舎が整備できる土地の面積を有することなどを移転整備候補地抽出の基本的な考え方とした上で、梶原四丁目用地（野村総合研究所跡地）及び深沢地域整備事業用地（行政施設用地）を候補地とし、市民の利便性及び全市的なまちづくりの視点から評価を行い、移転先を深沢地域整備事業用地（行政施設用地）に決定したものです。なお、深沢地域は、人口重心があり、またすべての行政地域に隣接する唯一の地域でもあることから、市民の利便性も含めて、適切な位置であると考えております。また、「横浜国大付属小・中学校の地」は建物及び土地のいずれも市の所有でないこと、「西御門付近」には必要となる床面積を整備できる市有地がないことから検討の対象としておりません。
80	長嶋議員	円安などの世界経済の情勢変化により、今後の財政負担は大幅に増加する事が見込まれる。保留地処分についても大きな狂いが生じる可能性がある。後から追加追加の予算措置をするような事は許されない。先送りをはじめとした計画自体を見直す必要がある。	現庁舎については、建物自体の課題として、建物及び設備の老朽化という課題を抱えており、現状のまま、今後さらに長い間使い続けられるものではなく、また、災害時に機能するために必要な耐震性能も不足している状況です。そのため、現在地建替え、長寿命化及び移転について検討し、「移転して整備する」という方針を決定したのですが、整備に要する費用については、現在地建替え又は長寿命化においても、移転整備と同規模以上の財政負担が必要となります。また、南海トラフ地震防災対策推進基本計画（令和3年5月25日・中央防災会議）においては、「マグニチュード8～9クラスの地震の30年以内の発生確率は70%～80%（2021年1月1日現在）とされている。」と示されるなど、災害対応の観点などからも、速やかに進めていく必要があります。物価や為替等の整備費用に影響を与える事項については引き続き注視しながら、その状況に応じて対応を検討してまいります。
81	長嶋議員	円安などの世界経済の情勢変化により、物資の高騰と物不足、人件費の高騰と人員不足は間違いなく出てくる。この事は市政運営全般の問題として大きいのしかかってくる。計画を見直さないと市政運営全般に支障が出てくる。後世に負担を負わせてまでやるのか？	同上

82	長嶋議員	ボーリング柱状図を見ると3mまで盛り土、13mまで細砂、13mから下はシルトでN値が低く、支持層まで27m。水脈が地下60cmにある。平成23年度深沢地区事業化推進検討業務(その2)委託の地質調査・CBR試験のデータは注視すべき内容。モノレール支柱は震度7に耐えられるとは考えにくい。緩い地盤で財政的負担大。	ボーリング調査については、現在地は平成27年度に、新庁舎整備予定地付近は平成23年度にそれぞれ実施しております。 そのうち液状化については、現在地の調査では「敷地の一部で液状化の影響が地表面まで及ぶこと（4cm程度の沈下）が考えられる。ただし、層全体の液状化の可能性は低い。」と評価され、新庁舎整備予定地は、泣塔付近にて調査を実施し、「液状化の危険性はない」と評価されています。 また、支持層までの深度については、現在地では全3地点の調査のうち1地点において、支持層と思われる層まで約23mとの調査結果が報告されています。 なお、移転先の検討に当たっては、津波をはじめとする様々な災害リスクについて検証を行い、さらに移転先については、鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会からの答申において「市内の他の地域との比較において、地震、津波、洪水、土砂災害など想定できる災害因子を複合的に考慮した場合、災害リスクが非常に小さい地域」であり、「今後新たに基盤整備と施設整備を行う地域であるため、減災や被災後の早期復旧、受援力の強化等を目指したまちづくりが可能である」との評価を得ていることや、同委員会防災部会においても「事業区域は防災拠点として機能を強化していくことができるエリア」との報告がされています。
83	長嶋議員	年超過確率1/1000降雨時の柏尾川流域24時間降雨量は632mm。この想定は実際に地域で降った雨の量を元に設定。また箱根町の2019年922.5mmは歴代1位。この想定降雨で本庁舎移転エリアは浸水する。盛り土、かさ上げしても近隣が浸水する事になるので問題がある。	平成27年の水防法改正に伴い、神奈川県が新たに想定した「想定し得る最大規模の降雨」による浸水想定を基に、浸水想定区域内の避難対策の充実を図ってまいります。 なお、土地区画整理事業では、計画規模の降雨（年超過確率1/100、24時間雨量302mm）でも宅盤が浸水しない高さまで盛土をする計画としています。さらに、新庁舎の建設予定地においては、北側道路の計画高さに合わせて宅盤を設定（盛土）するため、想定最大規模の降雨（年超過確率1/1000、24時間雨量632mm）であっても宅盤は浸水しません。
84	長嶋議員	地方自治法4条2項の「住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について、適当な考慮を払わなければならない」との内容についてクリアーできる計画内容では無いので、計画自体を見直す必要がある。	自治法第4条第2項については、判例において「その庁舎の位置をどこに定めるかについては、その事柄の性質上、当該地方公共団体に関する諸般の事情を総合配慮した上で、政策的、技術的な見地から総合的に判断されるべきである。」と示されています。新庁舎の移転やその位置については、鎌倉市本庁舎整備方針や鎌倉市公的不動産利活用推進方針などの策定の過程において、利便性や防災的な観点などから検討を重ね総合的に判断したものです。
85	千議員	自分としては、現在ある場所の方がいいと思っています。 (鉄道の主要駅（JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅）から近いという利便性、逆に名のあがっていると、鎌倉からはきわめて不便で来訪者に不利益を与えるのでよろしくありません。)	新庁舎の移転先は、平成29年度に鎌倉市公的不動産利活用推進委員会の中で、他の公的不動産の利活用やその効果を含めて全市的な視点から検討を行い、平成30年3月に策定した『鎌倉市公的不動産利活用推進方針』において、市役所本庁舎の移転先を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地（以下「行政施設用地」）としました。 移転先の検討は、原則として市有地であることや、必要となる床面積の新庁舎が整備できる土地の面積を有することなどを移転整備候補地抽出の基本的な考え方とした上で、梶原四丁目用地（野村総合研究所跡地）及び深沢地域整備事業用地（行政施設用地）を候補地とし、市民の利便性及び全市的なまちづくりの視点から評価を行い、移転先を深沢地域整備事業用地（行政施設用地）に決定したものです。 移転先のある深沢地域は、人口重心があり、またすべての行政地域に隣接する唯一の地域であることから、市民の利便性も含めて、適切な位置であると考えております。 なお、移転後の新庁舎周辺と市庁舎現在地周辺等との交通ネットワークについては、バス路線の新設・再編整備を含め、関係機関と連携し、来庁者の視点に立った公共交通の確保に配慮していく考えであり、東海道本線大船駅・藤沢駅間の新駅との連絡も含め、関係する交通事業者等と意見交換をしつつ、検討を行ってまいります。